

学校給食における生分解性バイオポリマー製ストローの試行導入について

1 概要

学校給食で提供する牛乳については、令和4年度の東京都の通知等に基づき、令和5年度よりストローレス化に取り組んでいるが、食物アレルギー対応や紙パックから直接飲むことが難しいなどの理由により、現在もプラスチックストローを使用する児童・生徒が一定数存在している。また、一部の保護者等から恒常的に食育（食事のマナー等）の観点から改善を求める意見が挙がっている。

このことから、児童・生徒が抵抗感なく牛乳を飲むことができること、環境問題への配慮と学校給食を活用した食育を両立することなどを目的として、令和7年度2学期から環境に配慮した「生分解性バイオポリマー製ストロー」を小・中学校（3校程度）に試行導入し、導入効果の検証や運用面での課題整理、使用済みストローの処分方法の検討等を行った上で、令和8年度からの全小・中学校への本格導入を目指す。

2 導入する製品・対象等

製 品 名：Green Planet[®]（グリーン・プラネット） 株式会社カネカ製

（特徴）100%バイオマス由来で生産、土中だけでなく海水中でも生分解が可能

対 象：立川市立小・中学校 3校程度 児童・生徒及び教職員 約1,800人

令和7年度2学期からの使用本数 約234,000本（1,800人×130日）

3 試行に必要な経費

単 価：ストロー1本あたり1.1円（税込）

必 要 額：約260,000円 ※令和7年度当初予算の需用費の中で対応を予定。

4 目的

- 児童・生徒の牛乳の飲みやすさの向上
- 学校給食を活用した児童・生徒の食育の充実（食事マナーの向上等）
- 児童・生徒の環境学習の充実
- 本市におけるグリーン購入の推進 など

5 試行実施期間中の取組内容（予定） ※詳細は、導入校や事業者等と調整して決定する

- 飲みやすさや使い心地に関する児童・生徒へのアンケート
- ストローの特徴を生かした環境学習の実施
- 使用済みストローの環境に配慮した廃棄方法の検討
- 学校給食共同調理場から排出される廃油を新たなストロー製造の原材料として有効利用する仕組みの検討 など